

令和5年度



館長講座



高橋 龍三郎 館長
【早稲田大学文学学術院教授】

全4回にわたって、先史考古学を専門とする高橋館長が最新の研究成果に基づき縄文時代についてわかりやすく語ります。

電子申請(やまなしくらしねっと)にて各回開催日の1か月前から前々日まで申し込みを受け付けます(定員95名になり次第終了)。尚、4回連続の申し込みはできませんので、必ず1回ずつ手続きをお願いいたします。

※リモート配信へのお申込みは電話・来館での受付はできません。



第1回

6.3 (土)

「縄文時代の交易と地域交流した黒曜石・水晶・ヒスイ・琥珀」



第2回

9.2 (土)

「中部高地の土製耳飾り」

各回 13:30-15:00

第3回

12.9 (土)

「金生遺跡と石棒儀礼」

令和6年

第4回

3.16 (土)

「富士山周辺の配石遺構」



くわしくはコチラ

※尚、リモート配信が見られない・分からないという方限定で、配信当日に当館エントランスホールにてライブ配信をご覧いただくことができます。こちらは電話【055-266-3881】にてお申し込みください。

ミニコラム

学芸員の
オススメ

この土器は、常設展に久しぶりに展示した縄文時代中期(約5千年前)の釣手土器です。昭和30年に北杜市須玉町若神子新町で出土したと伝えられ、平成15年に寄贈された野沢コレクションの一つです。

釣手土器はランプのように火を灯す道具だったと考えられていますが、実用品ではなく儀式などに使われたと言われていました。見る方向によって姿(ストーリー)が異なるのが釣手土器の特徴です。

この土器も表はカエルが大口を開けているようにも見えますが、裏は目の大きいお顔のようにも見えます。私も収蔵庫に別の目的で入ったところ、この土器をたまたま見つけ、マジカルな魅力に引きつけられてフラフラと展示してしまいました。裏側も見られるケースに展示しているので、その姿をあますことなくご覧ください。

[学芸員 柴田亮平]



▲3Dモデル化した遺物



▲ななめアングル



▲カエルが口を開けている?

館長講座・ミニコラム

オリジナル3Dプリント 土器・土偶編 vol.2

1回
500円

ショップのカプセルトイマシンにて販売中!

令和4年度に発表して以来好評を博している当館オリジナルの3Dプリント・カプセルトイシリーズに第2弾が登場!今回はおなじみの土偶や顔面装飾付土器などを主力とした第1弾とはまた一味違う、個性豊かな造形の土器を中心にピックアップしました。



全7種



特に、ハンドバッグのような把手のついた「釣手土器」や、渦巻く水煙のような躍動感が魅力の「水煙文土器」などは再現が難しいのではないかと心配していましたが、完成品をみれば細部までぬかりなく作り込まれた自信作となりました。今回製作したのは全7種の遺物で、カラー展開もさまざま。色の出方には個体差がありますが、それも味として楽しんでいただければ幸いです。このカプセルトイシリーズは製作に時間がかかるため、一度売り切れると次回納品までお時間をいただくことがあります。狙っている遺物がある方はぜひお早めにご来館ください!

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 開館時間 9時～17時
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882 【入館は16時30分まで】

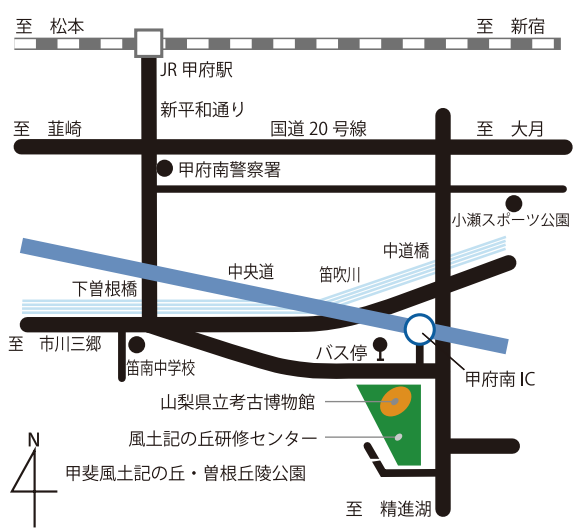
風土記の丘研修センター 開館時間
TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287 8時30分～17時

観覧料	休館日
一般・大学生 220 (170) 円	毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)
高校生以下 無料	祝・祭日の翌日 (土・日・祝は除く)
65歳以上の方 無料 (要証明書) ※特別展の場合は県内在住の方のみ無料	年末年始 (12月29日～1月1日) ※風土記の丘研修センターは1月3日まで休館

学校(団体)の利用について
 ◇教育課程(小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は事前に見学の申し込みをお願いいたします。
 ◇見学時間を十分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
 ◇できるだけ下見をし、担当職員と打ち合わせをしてください。
 ◇学校見学の申し込みと問い合わせ先: 風土記の丘研修センター

※()内は20名以上の団体料金
 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料
 ※山梨県民の日(11月20日)無料

令和5年度臨時休館
 6月29日(木)～7月7日(金)
 9月5日(火)～15日(金)
 10月31日(火)～11月5日(日)
 ※展示会準備・撤収のため



ミュージアム甲斐 in 券【4館共通定期観覧券(年間パスポート券)】
 ※当館・県立博物館・県立美術館・県立文学館の4館で1年間有効。
 一般 5,240円 大学生 2,620円

交通アクセス 路線バスの利用◇JR甲府駅より豊富行(中道橋経由)「県立考古博物館」下車
 自家用車の利用◇中央自動車道甲府南ICより1分(インター正面)

<表紙画像:上から>
 深鉢 仁斗田貝塚/土偶 二月田貝塚/蛭藻金 騎西城跡・騎西城武家屋敷跡/人物埴輪・馬形埴輪 下里見天神前遺跡/鳥形骨器 史跡津貝塚/猪牙製垂飾 大久保貝塚/単鳳環頭大刀の柄頭 北大竹遺跡/均整唐草文軒平瓦 史跡由義寺跡

発行日 令和5年8月25日
 発行 山梨県立考古博物館
 住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
 電話 055-266-3881
 印刷 株式会社 峡南堂印刷所

令和5年度上半期の開催報告と下半期の予定をお知らせいたします。今年は秋の特別展を夏休み期間にスライドし、大々的な縄文展示会を行いました。多くの縄文ファンに満足していただけるような密度の濃い世界観をお楽しみいただけたのではないのでしょうか。秋にはもう一つの山場である「発掘された日本列島2023」展が始まります。27年ぶりに山梨にやってくる調査研究最前線をどうぞお見逃しなく!(あ)。